

平成28年度 朝日町地域公共交通活性化協議会

日時：平成28年8月30日(木)11:00～

場所：朝日町開発センター 2階 会議室

◆◆◆ 次 第 ◆◆◆

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1) 総合交通の一部見直しについて

資料1: 山形直行バス復路3便化に向けた実証運行について

(2) その他

4 閉 会

平成28年度朝日町地域公共交通活性化協議会委員名簿

	団体(組織)名	役 職	氏 名	当協議会役職
1	朝日町	町長	鈴木 浩幸	会 長
2	山交バス株式会社	寒河江営業所長	池田 洋	
3	一般社団法人 山形県バス協会	専務理事	安藤 昭雄	監査員
4	一般社団法人 山形県ハイヤー協会	専務理事	鈴木 信幸	
5	山形県ハイヤー協会	地区代表	吉田 好伸	監査員
6	朝日町区長会	副会長	海野 和義	副会長
7	東北運輸局山形運輸支局	首席運輸企画専門官 (輸送・監査部門)	保坂 浩昭	
8	東北運輸局山形運輸支局	首席運輸企画専門官 (総務企画部門)	栗田 利彦	
9	山形県交通運輸産業 労働組合協議会	副議長	高橋 末雄	
10	村山総合支庁西庁舎 西村山道路計画課	技術主幹(兼) 西村山道路計画課長	松葉 伸章	
11	朝日町建設水道課	建設水道課長	阿部 弘美	
12	寒河江警察署交通課	交通課長	木村 弘紀	
13	村山総合支庁 西村山総務課連携支援室	室長	渡辺 博幸	
14	山形市まちづくり推進部 道路維持課	まちづくり推進部次長 (兼)道路維持課長	伊藤 林也	
15	山辺町政策推進課	政策推進課長	宗田 一彦	

〔事務局〕

所 属	職 名	氏 名
政策推進課	課 長	渡辺 政一
政策推進課	課長補佐	畑 英俊
政策推進課	主 査	佐藤 修
政策推進課	主 事	堀 隼聡

山形直行バス復路 3 便化に向けた実証運行について

1. 目的

- ・復路便の 20 時台出発便を運行し、運行体制のありかたを検証し、これまでよりも直行バスを利用しやすくする。
- ・高校生が往復で利用できるようにし、直行バスと J R の定期券の二重購入負担及び送迎の負担を無くす。

2. 現状

- ・山形市に通学し、部活を行っている多くの生徒は現在の復路便の出発に間に合わない。
- ・往路は直行バスを利用し、帰りは復路便に乗れないため J R を利用している生徒がいる。
- ・ J R を利用して帰ってくるため、駅まで親の迎えが必ず必要になっている。
- ・直行バスの定期券と J R の定期券の二重購入による費用負担が大きい。

3. 効果

- ・山形市へ通学する生徒が部活後でも復路便に乗れるようになり、復路便を利用する生徒が増える。
- ・往路のみしか利用出来ないため直行バスを利用していなかった生徒が利用できるようになる。
- ・山形市から J R を利用していた生徒が復路便に乗れるようになり、左沢駅までの親の迎えが不要になる。
- ・これまで定期券の二重購入をしていたのが、直行バスの定期券のみでよくなる。

4. 運行方法

- ・町有車両のバス 2 台を使用する。
- ※1 便目と 3 便目が同じバスで運行を行う。

5. 実施期間

- ・平成 28 年 10 月 1 日～平成 28 年 12 月 30 日までの平日（実運行:61 日）

6. 運行時刻

山交本社前発	山形駅西口発	朝日町役場前着	太郎公民館着
1 便目(2 号車) : 17:00 発	17:05 発	18:11 着	18:20 着
2 便目(1 号車) : 18:45 発	18:50 発	19:56 着	20:05 着
3 便目(2 号車) : 20:15 発	20:20 発	21:26 着	21:35 着

7. 経費

- ・給 与:1,600 円(時給)×3h(3 便目運行分)×61 日=292,800 円 (年間 : 1,176,000 円)
- ・燃料費:75km(往復距離)÷4km(燃費)×110 円(軽油)×61 日=125,813 円 (年間 : 505,313 円)
- ・合 計 : 292,800 円+125,813 円=418,613 円 (年間 : 1,681,313 円)

8. 利用見込み (歳入)

- ・片道定期券→往復定期券=2 人
片道定期券(1 ヶ月)7,000 円 往復定期券(1 ヶ月)13,000 円
13,000 円-7,000 円=6,000 円 6,000 円×2 人=12,000 円
- ・新規利用=2 人
往復定期券(1 ヶ月)13,000 円×2 人=26,000 円
- ・合計
12,000 円+26,000 円=38,000 円 38,000 円×3 ヶ月=114,000 円 (年間 : 456,000 円)

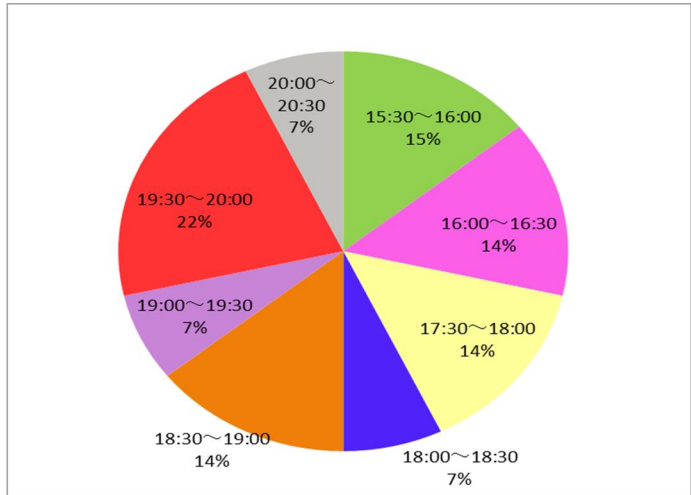
9. 検討事項

- ・10 月から 12 月の間に新規利用者(往復)が増えるか。→2 人以上 人数の確認及び意見の聞取り。
- ・3 便目の利用人数の把握。→4 名以上の利用はあるか。
- ・2 便目の利用人数の把握。→減するか。減の人は何時に乗っているか。どうしているか。
2 便目の運行が必要かを検討。(H27 のアンケートも参考にする。)
- ・3 便目を運行することで直行バス全体の利用人数が増えるか。

10.利用者の声（平成 28 年 7 月実施したアンケートより一部抜粋）

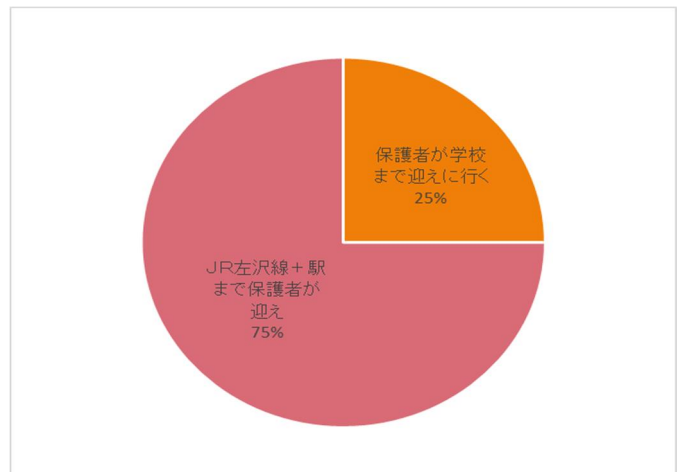
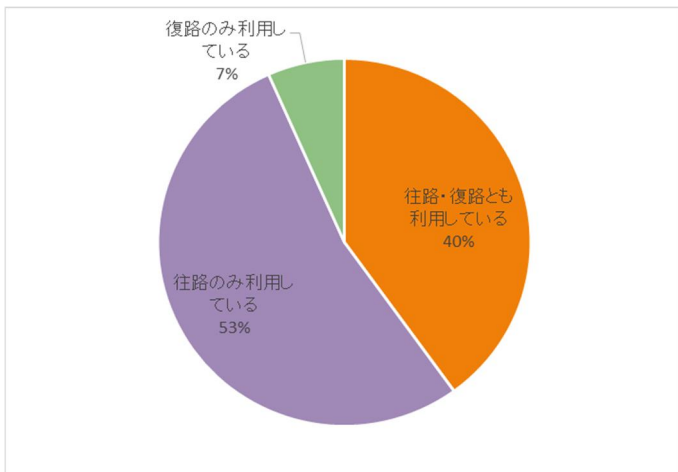
Q1 学校を出る時間

学校を出る時間	回答数
15:30～16:00	2
16:00～16:30	2
16:30～17:00	
17:00～17:30	
17:30～18:00	2
18:00～18:30	1
18:30～19:00	2
19:00～19:30	1
19:30～20:00	3
20:00～20:30	1
20:30～21:00	
21:00～21:30	
21:30以降	



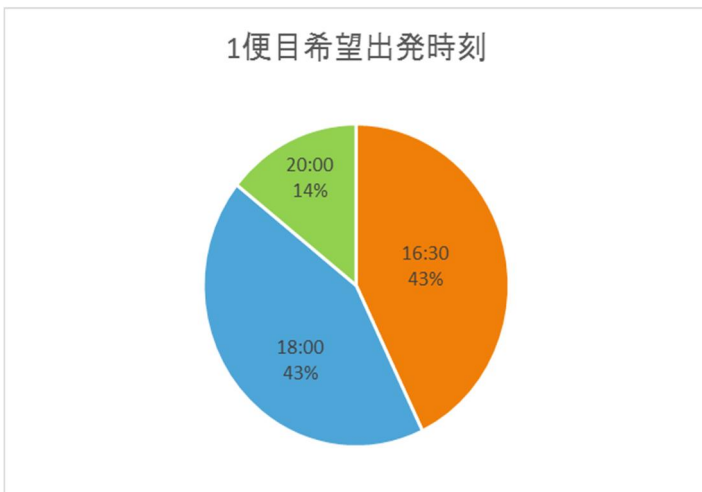
Q2 山形直行バスの利用状況について

『Q2 で往路のみ利用している人』が帰りに主として利用する交通手段



『Q2 で往路のみ利用している人』が希望する出発時刻

・ 1 便目希望時刻



・ 2 便目希望時刻

